

飛騨市まちづくりレシピ

まちづくりって特別なことじゃなく、みんなの暮らしがちょっと豊かになる活動。
飛騨市内で活動されているまちづくり団体を紹介していきます。
気になる活動があれば、気軽に参加してみませんか？

HIDAPLUS

無理せず、楽しく、続けていくこと。

山中和紙若手職人 長尾農園



▲紙の原料から育てるのは河合ならではの



▲雪さらしの様子 今年はや暖冬で大変だった



▲家具や照明などのインテリアに使用されることも

「夏場はトマト農家、冬場は和紙漉きが、自分の仕事スタイルに合っている」ことを見つけた、河合町稲越 長尾農園の長尾隆司さん。
長尾さんは、下呂市出身。農業大学での農家研修先が河合町で、研修先農家から卒業後も河合町での経営を進められ移住し、トマト農家として独立されました。

山中和紙との出会いは5年前。トマト栽培ができない冬場も、もの作りに携わりたい思いから、河合の和紙職人、清水忠夫さん(同町新名)の下で原料となる楮の刈り取りや皮はぎ作業、紙漉きの技術を2年間学び、現在独立して新たな担い手として頑張っています。同期には、同町の近谷瑠衣さんも清水さんの下で修業し、山中和紙の素晴らしさを継承されています。

長尾さんは、「楮の栽培からの和紙生産と、マトの栽培管理の両立は大変ですが、徐々に注文もいただけるようになってきました。紙漉きは行程も多く大変ですが、最終製品として出来上がったものを見ると嬉しいです。」と語ってくださいました。また、「今後はもっと地元でも使ってもらえるようにしたい。」そして、「無理せず、楽しく、続けていくこと」をモットーに頑張ります」と語ってくれました。

長尾さんの人望と山中和紙への熱い思いを感じる事ができました。きっと近い将来、色々なお店でたくさん山中和紙を目にすることでしょう。

また、山中和紙では各工程で人がいることがあり、定期的に手伝ってくださる人も募集しているとのこと。ご興味のある方はぜひ河合に遊びに行ってみてください。

基本情報

設立：平成28年4月
メンバー：2名
活動地域：河合町
主な活動：こうぞを育てるところから、紙漉きの工程まで、山中和紙の生産に関わるすべて



飛騨市のまちづくり最新情報はこちら▶

<https://www.city.hida.gifu.jp/site/hidaplus/>



◀ひと冬で2000~3000枚を漉く河合の冬の寒さが、紙を白く、丈夫にする。

▼楮を紙漉きの原料とするまでには様々な工程を要する



人口の動き (5月1日現在 住民登録人口)

| 男 | 女 | 計 | 世帯数 |
|-------------|--------|--------|-------|
| 11,434 | 12,162 | 23,596 | 8,884 |
| 出生 8 | 転入 87 | | |
| 死亡 27 | 転出 43 | | |
| 高齢化率 39.14% | | | |

消防の状況 (4月30日現在)

| | 火災 | 救急 |
|-----------|----|-----|
| 飛騨市 | 1 | 300 |
| その他(管外出動) | 0 | 0 |
| 前月比 | 0 | 64 |

交通事故の状況 (4月30日現在)

| | 人身交通事故 | | 物損交通事故 |
|------|--------|-------|--------|
| | 件数 | 死者 傷者 | |
| 本年累計 | 5 | 1 5 | 146 |
| 昨年同期 | 10 | 0 21 | 184 |
| 増減 | -5 | 1 -16 | -38 |